



【問い合わせ】 大津町人権啓発福祉センター(人権推進課 人権推進係)
☎096(293)7920

大津中学校教諭 もりやま えいじ 森山英治さん

今回は、大津中学校の教諭として、また熊本県人権教育研究協議会副会長として活躍している森山さんに人権学習に対する思いを伺いました。

—子ども達に対する人権学習についての思いを聞かせて下さい。

基本的には人権学習でも日常的な授業においても、生徒たち一人ひとりがそこで、存在感のある授業をしていくということが一番大切です。

人権学習は、なかまづくりなんです。差別をなくすためには、立ち上がらないとなくなりません。この運動というのが部落解放運動なのです。

これはすごいことで世界にない素晴らしい教育なんです。それらをもっとも部落の為や誰かの為だと思ってしまう。

そうではない。その教育運動が自分の為に息づいている事をしっかり持っていかないといけない。自分だけの課題だったり自分の立ち上がりになりません。

解放運動は一人ではつらく難しい。だからこそ共通の目標のあるなかまと繋がっていく。それが運動であり、絆です。

いつも生徒たちに言っているのは、「あなた達を大切に思っている人が必ずいる。大切にされるあなたが好き、私が好き、なかまが

好きという気持ちで授業を受ける。」ということなんです。一緒に授業を作り上げるといことを伝えたい。「ありのままのあなたで良い。わからないことは、わからないで良いから」と言つと、みんな「分かります」と笑って答えます。隣にいる人の心に思いをはせる力をつけていくことが人権学習です。

—先生たちに対する人権学習についての思いを聞かせて下さい。

先生たちに問います。「生徒のくらしが見えますか?」

先生は差別が見える力をつけなければいけない。

差別が見える位置は、暮らしの中にこそあります。先生自身が自分の暮らしを見つめないと見えません。だからこそ、先生たちにも授業のはじめに、自分の事を語ってもらいます。親の事や自分自身の事を改めて見つめると課題に気づくことができます。自分の暮らしを見つめ、親を語ったことで、差別が見えてきます。そうすると、生徒の暮らしが見えて重なります。大事なことは4つ。

①差別が見える、差別の現状を明

らかにする。

②必ずその子の暮らしに繋げる。

③だからこそ授業者＝教師側が自分を見つめ、語る。

④繋がる。

子どもと子どもが繋がる、子どもと先生が繋がる、子どもと親が繋がる、先生と親が繋がることで絆やなかま作りが芽生えてきます。

—これからの解放運動に対しての夢を聞かせて下さい。

解放運動というのは幸せを作らなければならぬと思います。また、青年たちの立ち上がりの為に、育て繋げていく事が目標です。

私の住む山鹿市でも全体で30人以上の青年達が活動を行っています。ですが、現在は、少なくなっています。活動も難しくなっているようなので、各地に残っている青年たちをもっと一度繋ぐことが自分に残された仕事だと思っています。

子どもたちは、それぞれの輝きを持っていきます。そして、視点と価値観を発信できる。それが人権教育であり、自分の為の教育も人権教育です。

日本と台湾をつなぐ!新しい絆!

こうえいこくみん 美咲野小×光榮國民小 姉妹校締結式

台湾・高雄市から、光榮國民小(こうえいこくみん)小学生20人が来熊し、6月15日に、熊本地震の慰問を兼ねて美咲野小学校を訪問し、同校の児童と文化交流を行いました。そして、継続的な友好交流を目的に、姉妹校締結を行いました。



「姉妹校締結式」

高雄市立光榮國民小学校(こうえいこくみん)の李哲明校長(りてつめい)と美咲野小学校(みさきの)の草場ルミ子校長(くさば)は姉妹校締結式を行いました。締結式のあと、お互いにお土産を贈り、日台友好を確かめ合いました。李哲明校長は「私たち一人一人の力は微力ですが日々の何気ないつながりを大切にしていきたいと思います。今日の出会いを台湾と日本の末永い友好親善の日にした」とあいさつし、会場をわかせていました。



光榮國民小の伝統芸能「跳鼓陣」

締結式のあとは光榮國民小学校から歌の発表と伝統芸能の「跳鼓陣」が披露されました。銅鑼や太鼓の大きな音が響き、統率のとれた跳ねるような踊りに会場は驚きに包まれました。美咲野小学校の児童は「キレのある動きですばらしいと思いました」と話していました。



美咲野小は嵐の「ふるさと」を熱唱 エアロビックと大津太鼓の共同演技も!

踊りのお礼に美咲野小学校からはくまモンの生みの親でもある小山薫堂氏(こやまくんどう)が作詞した嵐の「ふるさと」の合唱を行い、美しい歌声を披露しました。

また、大津町を代表する、エアロビックの大村詠一さん(おおむらえいいち)と大津太鼓の高見大志さん(たかみだいし)の演技が披露され、会場はさらに盛り上がりました。最後には2人の共同演技も披露され、高見さんの太鼓を大村さんが飛び越えた時には驚きの声があがりました。



楽しい時間は瞬く間に過ぎ去り

2校の文化交流会も無事に終わり、別れの時間になりました。美咲野小の児童が光榮國民小の皆さんをお見送り。再会を約束し、感謝の気持ちを伝えました。

